

令和7年度 自己評価結果

学童保育を行う上で重要な「子どもを尊重する」ことや「子どもの人権擁護」について改めて意識を高め、日常の保育を振り返るために自己評価を実施しました。この振り返りをを通して、学童支援員としての専門性を高め、より良い支援につなげていくことを目的としています。

今回は、学童支援員5名が評価に回答し、その結果を集計しましたので、公表いたします。

評価はの4段階（4・3・2・1）で行い、1（全くできていない）を選んだ項目はありませんでした。

- ・ 4：できている
- ・ 3：ほぼできている
- ・ 2：あまりできていない
- ・ 1：全くできていない

【1】子どもとの関係作り	4	3	2	平均	気づき
① どの子にも、笑顔で挨拶するなどの声かけをしている	3	2		3,6	
② 子どもの前で他の子どもの話や保護者の話をしないように気を付けている	2	2	1	3,2	改めて注意する
③ 挨拶を交わしながら、様子や健康状態を視診している	4	1		3,8	
④ 子どもの思いや考えを子ども同士が伝え合える場を大事にしている	2	3		3,4	
⑤ どの子にも丁寧な言葉使いで接し、子どもの話を最後まで聴いている	2	3		3,4	
⑥ 自分が間違ったときは、子どもに対しても「ごめんね」などと謝るようにしている	5			4	
⑦ どの子にも、「ありがとう」「助かったよ」などの感謝の言葉を伝えている	2	3		3,4	
⑧ 様々な人と関わる機会を持つようにしている	2	2	1	3,2	

【2】子どもの適切な行動に着目する	4	3	2	平均	気づき
① どの子にも適切な行動をした時には、「できているね」などと声かけをしている	4	1		3,8	
② 目立たなくても適切に取り組む子どもに着目し、肯定的な声かけをしている	3	2		3,6	
③ 子どもの興味や目標を把握し、「がんばっているね」などと応援している	2	3		3,4	
④ 子どもの良さを積極的に見つけ、認めたり励ましたりしながら自信をもてるようにしている	2	3		3,4	

⑤子どもの意見や発想を受け止め、積極的に保育にいかしている	1	3	1	3,0	
⑥ 昼食準備や清掃などの活動を子どもとともに 行い、肯定的な声かけをしている	4	1		3,8	

【3】生活規律やルールの定着	4	3	2	平均	気づき
①時間通りに始めるなど、自ら子どもたちのモデルとなるよう行動している	2	3		3,4	
②「～してはいけない」よりも、「～しよう」という声かけをしている		5		3,0	
③ 集団の中で適切な行動をしている子どもを認め、全体のモデルとしている	2	3		3,4	
④ 不適切な行動をしたときは、適切な行動が何かを子どもに問いかけて確認している	3	2		3,6	

【4】観察と連携した対応	4	3	2	平均	気づき
①子どもの表情やしぐさ、他者との関わり方などを観察し、変化をとらえている	2	3		3,4	
② 共同作業になかなか取り組めない子どもでも、参加できる場を用意している	1	3	1	3,0	
③他者との関わりの薄い子どもに、意図的に話しかけている	3	2		3,6	
④活動の中で児童同士の関係を捉えながら適切に関わり、児童が安心して過ごせるよう援助している	1	4		3,2	
⑤ 子どもの変化について、職員間で情報共有を図り対応を検討している	4	1		3,4	

【5】トラブルや問題行動への対応	4	3	2	平均	気づき
①「何をやっているんだ！」よりも「どうしたの？」とまず子どもの話を聴いている	2	3		3,4	
② 問題解決の優先順位を職員間で共有している	2	3		3,4	命、他への迷惑を優先
③ 問題行動を発見したら、他の先生や管理職にすぐ連絡している	4	1		3,8	
④ 三日間欠席が続いた場合は、家庭に連絡などをして本人の様子を把握している	3	2		3,6	

【6】保育環境について	4	3	2	平均	気づき
①保育室や園庭の安全確保に努めている	4	1		3,8	

②基本的な生活習慣が身につけやすい環境づくりに努めている	2	3		3,4	
③室内の整理整頓、衛生管理ができています	2	3		3,4	
④遊具の安全点検（破損、紛失など）の確認ができています	3	2		3,6	
⑤動物や植物を大切にしてお世話をしている	4	1		3,8	

【7】 会議・研修	4	3	2	平均	気づき
①意見や考えを自由に発言できる雰囲気がある。	2	3		3,4	
②発言している人の思いや考えを受け止めながら聞いている	4	1		3,8	
③特別支援を要する子どもの実態を把握し、支援方法について共通理解している	3	2		3,6	
④研修で学んだ知識や技術を保育に活かしている	1	3	1	3,0	

【8】 はすの実クラブ職員として	4	3	2	平均	気づき
①保育に入る前と勤務終了時は保育記録を必ず読み、必要なことは書き込んでいる	4	1		3,8	
②職員間で情報の共有や申し送り、引継ぎを行っている	3	2		3,6	
③遊びや生活の場面で、自分が果たすべき役割を理解している。また、職員間の協力・連携ができています	2	3		3,4	
④職員間で子どもの様子や問題を話し合っている	3	2		3,6	
⑤提出物（研修報告書、有休希望）の締め切り日を守っている	2	3		3,4	
⑥出勤したらお内仏（御仏様）にお参りしている	2	3		3,4	
⑦お寺の法要や同朋会など、自分を見つめなおすための時間に積極的に参加している	2	3		3	
⑧当クラブがお寺の学童だということを十分理解したうえで、いつも、御仏様を意識して、子どもと一緒に過ごしている	2	3		3,4	

【9】 保護者との関わり	4	3	2	平均	気づき
①個人情報にかかわる文書は、封筒に入れて渡している。回収にも気をつけている	2	3		3,4	

②子どもの気になる様子や頑張っていることについて常に保護者と連絡を取り合っている	2	2	1	3,0	些細な事でもお伝えしようとしているが、保護者によっては伝わらない事がある
③わかりやすい文書やお便りを作成するよう心がけている	3	2		3,6	

【10】こんなことはありますか？（「はい」か「いいえ」に○をつけてください）	はい	いいえ	気づき
①名前を「ちゃん、くん」等、区別して呼んでいる	1	4	できるだけ「さん」で統一しているがたまに「ちゃん」で呼ぶこともある
②特定の子どもに声をかけることが多い		5	
③男女に分けて行動させることが多い		5	時と場合によっては男女別になることもある
④服装や髪型、持ち物を自分の好みでほめることが多い		5	
⑤職員が一方向的に話すことが多い		5	
⑥ものごとを決めつけて考えたり話したりしている		5	
⑦研修等に積極的に参加している	5		
⑧物事を話し合うことなく、自分で決めている		5	
⑨個人情報に関わる文書等を机の上に置いたままにしている		5	
⑩家庭状況の違いで子どもや保護者への接し方が異なっている		5	
⑪名簿は、男女混合にしている	5		

【自己評価のまとめ】

今回の自己評価を通して、日々の関わりの中で大切にしていることや、職員一人ひとりの丁寧な実践が着実に積み重ねられていることを改めて確認することができました。特に、子どもへの温かい声かけや安全への配慮、記録の確認など、基本となる取り組みが安定して行われている点は大きな強みといえます。

一方で、子どもの思いや意見をより保育に取り入れる工夫、共同作業が苦手な子への関わり方、保護者の皆さまへの伝え方など、改善の余地が見られる点も明らかになりました。これらは、日々の中で意識を重ねていくことで、より良い環境づくりにつながるものと考えております。

今後も、子どもたちが安心して過ごせる学童クラブであるために、職員同士が協力し合いながら、一つひとつの取り組みを大切に積み重ねてまいります。